

令和3年度 第4回家庭教育講座「子そだてマナビィ」講座報告

～集まれ！冒険の森山口徳地～

親子 おしおし 探検隊

日 時：令和3年7月18日（日）10：00～12：00

場 所：国立山口徳地青少年自然の家

講 師：角田 正明 氏（やまぐち昆虫楽会会長）

受講生：親子15組（大人27人、子ども22人）

<講座内容>

講師による講話と、フィールドワークにおける親子での昆虫観察から、昆虫の生態、命の神秘を学びました。国立山口徳地青少年自然の家の中央広場周辺に生息する昆虫や植物、昆虫の活動の痕跡などを講師によりあらかじめ調査していただき、作成された資料をもとにウォークラリー形式に各家族単位に観察ポイント箇所をまわり、親子のコミュニケーションを深めました。



■講師紹介■

すみだまさあき

角田正明氏「やまぐち昆虫楽会会長」

昆虫研究家として約25年間、県内各地で昆虫教室を開催されるほか、エッセイや研究論文の執筆、ラジオパーソナリティなど幅広く活動されています。昆虫標本は約1000種類、1650頭を所有されています。

「野外での昆虫観察には携帯用のサイズの小さな『ポケット図鑑』をもたれることをお勧めします。」



今日の昆虫観察について

- ・観察マップの地図を目安に番号の場所①から⑬を探して観察しました。
 - ・コロナ対策のため、各ご家族単位で自由に行動していただきました。
 - ・みつけた場所はマップにある項目の□に✓を入れます。
- コンプリートできるかな？



観察マップ



觀察項目

観察した場所をチェックしよう！

- [illegible]

第4回山口市家庭教育講座₄

～集まれ！冒険の森山口徳地～

親子おしおし 探検隊

令和3年7月18日



■ 角田先生より ■

「山口市内なら、どこでも見かけるような昆虫について書きました。公園や小学校など自分の住んでいる地域でも、ちょっと探せばみつかります。」

親子でチャレンジ
してみよう！



普段は見過ごしている身近な昆虫の生態に、びっくりの内容がもりだくさん！
出発前にそれぞれについて説明していただきました。

《資料から一部ご紹介》

観察ポイント③木の実じゃないの?! クヌギの「虫こぶ」

クヌギイガタマバチ

- ・一見、クヌギのドングリのイガのように見えるが、これはハチの巣（虫こぶ）
- ・枝に球形の虫こぶを作る。
- ・メスは秋の終わりに、虫コブからぬけだして、雄花の冬芽に産卵する。
- ・成虫は刺すことはない。



春の虫こぶ



現在の虫こぶ

観察ポイント⑭カタバミで10円玉みがき!



ヤマトシジミの幼虫はカタバミの葉を食べます。

☆カタバミを使って実験してみよう!

- ・カタバミには、シュウ酸が多く含まれている
- ・カタバミは1000年以上前には、鏡をみがくことに使われていました。

汚れた10円玉をカタバミの葉っぱで磨いてみよう。



あれっ! 汚れた10円玉がキレイになった!

観察ポイント⑯宿泊棟の縁の下にたくさんのアリジゴクが!

アリジゴク (テラスの下)

- ・幼虫も成虫 (ウスバカゲロウ) も肉食
- ・乾いた砂でなければ住めない。
- ・アリジゴクは後にしか進めない。
- ・幼虫はウンチはしないが、オシッコはする。
- ・アリジゴクの主食は実はダンゴムシ!



■フィールドワーク・親子昆虫観察のようす



「みつけたよ！！」



保護者の方は子どもさんに声をかけながら番号の場所へ行き、ポイントを見つけると親子でお話しながら観察をされていました。



角田先生よりメッセージ

家庭教育講座 子そだてマナビイ



いろいろな昆虫たち

今日は、雨模様だったので、チョウやトンボ、クワガタやカブトムシを見つけることはできませんでした。しかし、葉っぱの食べ後を見て昆虫の種類がわかる不思議、雨が降らない乾いた環境でじっと生きているアリジゴクなど、それぞれの昆虫の生態などたくさんのことをみつけることができたと思います。

命をつなぐ、いきものの輪

虫の死骸が落ちていところへそれを食べる様々な昆虫が集まっていました。中央広場には動物のふんが落ちていたけれど、放っておいても自然に片付いています。センチコガネなどがそれを幼虫のえさにするなどしていきます。自然のなかには掃除屋の昆虫がいて、命が循環していて、生態系をなしています。

調べてみよう

子どもの夏休みの自由研究で、研究者も知らないようなことを発見した例があります。（アリジゴクの排泄のこと、セミの寿命など）昆虫の世界にはまだまだわかっていないことがたくさんあります。昆虫を調べたり観察することでいろいろな発見があるから、夏休みを利用して、取り組んでみてください。

カブトムシのプレゼントのこと

私が自宅で育てているカブトムシを、各家庭に1ペアずつお配りしています。みなさんの家族の一員として大切に育ててください。虫だからといって子どものおもちゃにするのではなく、生き物はみな命をもつことを、忘れないで大切に扱ってほしいです。



※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として以下を行いました。ご協力ありがとうございました。

・人数の調整・マスクの着用・受付にて検温、体調の確認・手指消毒の奨励・家族同士の間隔の保持

アンケートより ご意見・ご感想を一部ご紹介

★日頃は親子で街中へ出かけることはあっても、このような自然の中へ出かける機会がなく、今日はとてもゆったりした貴重な時間を過ごさせていただきました。角田さんのお話も、知らないことばかりで、とてもありがたい楽しいお話でした。カブトムシの育て方の話がとても参考になりました。

★日頃気づかない発見が多くあり、よい学び、親子のかかわりの機会となりました。ありがとうございました。

★先生の講座とても貴重で、明日から身近な虫たちを発見した時に役に立つような情報をたくさん教えてくださいました。先生が育てられたカブトムシもいただき、家族の一員として大事にしてほしいという言葉が胸に響きました。先生のお話をもっともっとお聞きしたかったです。2時間くらい…

★今日の昆虫教室を親子共々とても楽しみにしていました。角田先生の昆虫教室は、2度目で、いつも楽しく参加させて頂いています。コロナ禍での家族で参加できるイベントを有難うございました。

★身近な生き物の今まで知らなかった生態を専門的に教えて頂き、とても面白かったです。フィールドワークもあいにくの雨天でしたが、普段と違った目線で楽しむことが出来ました。

★雨の日で残念でしたが、それでもつかまえた虫の名前を先生に教えてもらえたり、とても楽しかったです。カブトムシも大事に育てます。本当にありがとうございました。

★カタバミで10円玉を磨くなど、見るだけでなく実際に体験するようなカリキュラムが良いと思います。

★大人も子どもと一緒に楽しめました。親子で一緒に学ぶことが出来ました。

★自分では虫が苦手なこともあり、なかなか子どもたちに自然と触れ合う機会を作るのが難しく、こういった機会があるのは大変ありがたいです。コロナ禍でも、こういった行事をしていただき、ありがとうございます。

・ジュエキのところに、大きなありの、すがあって、ぼくは「びっくり」しました。さいごにかえたらカブトムシがおいてあって、うれしかった。（2年）

・虫はすごいと思いました。アリジゴクがおもしろかったです。（2年）

・きょうはこん虫のことをいろいろおしえてくださって、ありがとうございます。いろいろなこん虫の持ち方、カマキリは何を食べるのかもおしえてくださってありがとうございます。（3年）

・虫とかつかまえてはかせにいろいろなことを教えてもらって勉強になりました。（3年）

